

亶理町立郷土資料館年報

第21号
(平成30年度)



常設展示室

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年10月に開館した亘理町立郷土資料館は、平成30年度で24周年を迎えました。

平成30年度は、亘理の基礎を築いた初代亘理領主伊達成実生誕450年、歴史の大きな転換期となった戊辰戦争から150年の節目の年に当たったことから、各種事業を記念事業として開催しました。

そのメイン事業として特別展「亘理伊達家の宝物」を開催し、亘理伊達家が北海道移住の際一緒に亘理から海を渡り先祖代々大切にしてきた武具や成実・政宗に関する資料、また、14代領主邦成の義母である貞操院が大事に扱ってきたものを伊達市から約60点借用して、亘理町と亘理伊達家の関わりについて考える機会としました。その中でも開拓時の困窮の中ではころびを直したとみられる雛人形5対は、今回の目玉として初公開しました。

「成実ウォーク in 亘理」は、特別展の関連事業として開催し、郷土資料館を出発点として成実の眠る大雄寺まで要所において解説しながら歩き、町内に残る伊達成実ゆかりの史跡や町並みを訪ねて成実の足跡を振り返りました。

夏のテーマ展「亘理伊達家の資料～館蔵資料の公開～」は7月から8月まで開催し、「戊辰戦争と亘理伊達家の北海道移住」「亘理伊達家当主と伊達政宗」「亘理伊達家の武具類一弓・鉄砲」「亘理伊達家の衣食住に関する資料」「亘理伊達家当主の資料」の5コーナーに分けて展示しました。

郷土資料館町民講座「ものしり大学院」は「伊達実元・成実父子の活躍と伊達氏の勢力拡大」、「仙台藩は賊軍に非ず～戊辰戦争の真実と亘理伊達家の人々～」と題して2回開催し、歴史を再発見する機会としました。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。どうか今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成30年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和元年12月

亘理町立郷土資料館

館長 片岡正春

目 次

1	平成30年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
〔1〕	組織図・職員構成	2
〔2〕	事務分掌	2
3	展示	
〔1〕	常設展示	3
〔2〕	企画展示	3
〔3〕	テーマ展示	4
〔4〕	収蔵資料展示	6
4	無料開放事業	
〔1〕	「どこでもパスポート」事業	6
〔2〕	無料開放	9
5	教育・普及	
〔1〕	講座等	9
〔2〕	学社融合推進事業	12
〔3〕	ゴールデンウィーク特別開館事業	14
〔4〕	オープンミュージアム	14
〔5〕	学校教育関連	15
〔6〕	刊行物等	16
〔7〕	博物館実習	16
〔8〕	その他	17
6	資料の収集・保管	
〔1〕	収蔵資料	17
〔2〕	寄託資料	18
〔3〕	常設展示借用資料	19
〔4〕	資料貸出	19
7	観覧者数の推移	
〔1〕	平成30年度月別観覧者数	20
〔2〕	年度別観覧者数	20
8	予算	21
9	職員名簿	21
10	利用案内	21

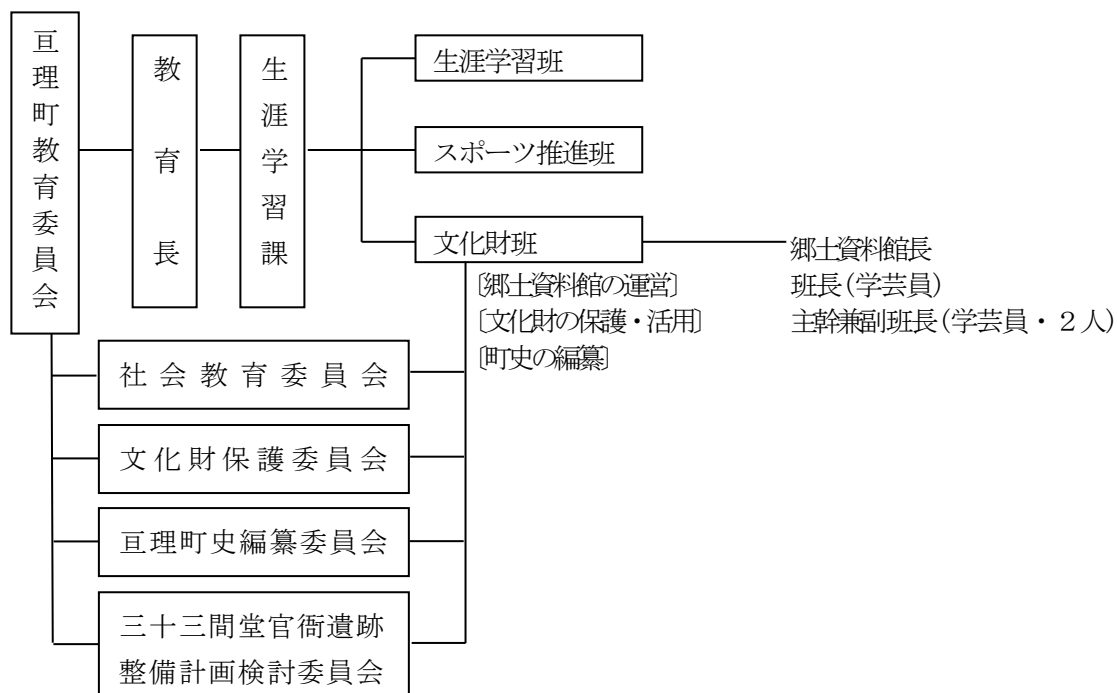
1 平成30年度の主な事業と活動

30. 4 広報紙「郷土しりょうかん」第140号発行
4/28～5/6 ゴールデンウィーク特別開館事業(5/5こどもの日記念無料観覧日)
4/28～6/24 第21回収蔵資料展
5/18 宮城県南資料館等連絡協議会総会(丸森町)
6 広報紙「郷土しりょうかん」第141号発行
6/12 宮城県博物館等連絡協議会総会・第1回研修会(多賀城市)
7/21～8/26 夏のテーマ展「亙理伊達家の資料～館蔵資料の公開～」
7/21～8/26 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「ちょこっと体験」
8 広報紙「郷土しりょうかん」第142号発行
8/14～19 博物館実務実習
8/16 伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日
8/18 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」
10 広報紙「郷土しりょうかん」第143号発行
10/6～11/25 伊達成実公生誕450年記念特別展「亙理伊達家の宝物」
10/20 郷土資料館町民講座「ものしり大学院
～伊達実元・成実父子の活躍と伊達氏の勢力拡大～」
10/23 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
10/25 宮城県南資料館等連絡協議会 第1回役員会(角田市)
11/3 文化の日特別開館「オープンミュージアム」(文化の日記念無料観覧日)
11/18 郷土資料館町民講座「ものしり大学院
～仙台藩は賊軍に非ず～戊辰戦争の真実と亙理伊達家の人びと」
11/21 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(亙理小学校)
11/23 伊達成実公生誕450年記念「成実ウォーク in わたり」
12 広報紙「郷土しりょうかん」第144号発行
31. 1/16 伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日
1/17 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(逢隈小学校)
1/24 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(吉田小学校)
1/30 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(長瀬小学校)
2/1 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
2/5 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(亙理小学校)
2 広報紙「郷土しりょうかん」第145号発行
2/16～3/17 春のテーマ展「江戸清吉コレクションの逸品」～著名人の掛軸を中心として～
2/16～3/3 亙理伊達家雛人形公開
2/23 年中行事講座「おひなさまを作ろう」
2/6 宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)
3/3 ひなまつり記念無料開館日
3/19 宮城県南資料館等連絡協議会担当者研修会(角田市)
3/19 宮城県南資料館等連絡協議会第2回役員会(角田市)

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

平成30年4月1日現在

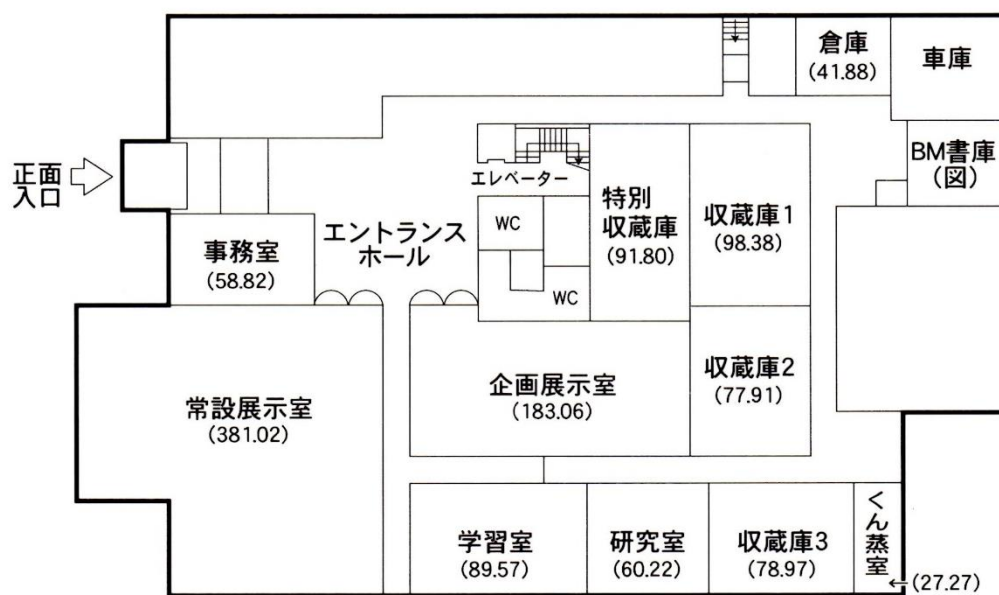


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

亘理伊達家雛人形公開

期 間 平成31年2月16日(土)～3月3日(日)
開館日数 11日間
場 所 常設展示室 亘理伊達家コーナー
観覧者数 630人
資 料 石川家伝来亘理伊達家古今雛一对、掛袱紗1点、
婚礼調度品6点を仙道人取橋御合戦之図と入れ
替えて展示した。

雛人形由来 亘理伊達家には14代亘理領主邦成の義母貞操院
(13代仙台藩主伊達慶邦の妹・保子)の婚礼調度品と
伝えられる雛飾りがあり、これらの雛人形は亘理
伊達家が家中と共に北海道に開拓移住する際にも貞操院様の愛用品として大切にされ海を渡った。
ほとんどの雛飾りは伊達市に寄贈され、市の開拓記念館に展示されているが、伊達家と邦成公の
3人の息女にも伝えられた雛飾りがあった。平成13年、邦成公の三女佑子氏が嫁入り道具とし
て持参した雛人形が、婚家の石川家から亘理伊達家に約90年ぶりに里帰りした。

翌14年、初代亘理領主成実公が亘理入府400年を記念して、亘理伊達家と石川家の好意に
より郷土資料館に寄贈され、以来3月3日のひなまつりにあわせて公開している。



▲石川家伝来亘理伊達家古今雛

〔2〕 企画展示

伊達成実公生誕450年記念 特別展「亘理伊達家の宝物」

期 間 平成30年10月6日(土)～11月25日(日)
開館日数 43日
会 場 企画展示室
観覧者数 1,662人 1日平均39人
観覧料 一般：200円、高校生以下：無料

※ 成実公生誕450年を記念し、町内全戸に無料観覧券を配布

※ 障害者手帳提示者：本人と介護者1名は免除

【趣 旨】

今年は、亘理の基礎を築いた初代亘理領主伊達成実の生誕450年、
歴史の大きな転換期となった戊辰戦争から150年、来年は、亘理伊達
家の北海道移住150年の節目の年にあたる。

伊達市の成実関連資料、戊辰戦争・移住関係資料、亘理伊達家の家宝など貴重な資料を借用して(伊達市開拓
記念館が新博物館建設のため休館中)、亘理町と亘理伊達家の関わりについて考える機会とした。

【展示内容】

◎「伊達成実」コーナー

成実着用と伝えられている「黒漆塗五枚胴具足」2領を展示した。実物の2領が並ぶのは亘理では初めての



▲成実公御肌守護



▲初公開となる亙理伊達家の雛人形

ことである。また、「成実公御肌守護」は戦場でも肌身離さず身につけていたと伝わる貴重なもので、亙理伊達家の家宝として今でも大切にされている。

◎「戊辰戦争と北海道移住・開拓」コーナー

戊辰戦争における仙台藩の処分が決定した翌日に書かれた「伊達慶邦書状」や「虻田郡増支配沙汰書」のほか、14代亙理領主伊達邦成が着用したと伝えられる「黒漆五枚胴具足」などを展示した。

◎「伊達政宗と亙理伊達家」コーナー

亙理伊達家に伝わった、成実が政宗から頼りにされていた証となる「人取橋の合戦」直後の書状などを展示した。

◎「貞操院と亙理伊達家の雛人形」コーナー

貞操院は14代亙理領主伊達邦成の義母で、北海道移住団に加わり開拓に励む家臣たちを激励し続け心の支えとなった。雛人形は、亙理伊達家歴代当主夫人の婚礼道具の一つで亙理初公開となった。

◎「亙理伊達家の宝物」コーナー

「藤原姓伊達氏支流系図」は、藤原鎌足から6代伊達村成まで書かれており、亙理伊達家当主については実績や他の資料にない情報が記載されている。

国重要美術品である「宇佐美長光」は、亙理伊達家の家宝中の家宝であり、鎌倉時代中期の備前長船長光作で、始祖実元が上杉家から養子縁組の証として拝領したもの。

〔3〕 テーマ展示

伊達成実公生誕450年記念 夏のテーマ展「亙理伊達家の資料～館蔵資料の公開～」

期 間 平成30年7月21日(土)～8月26日(日)

開館日数 30日

会 場 企画展示室

観覧者数 823人 1日平均27人

観 覧 料 常設展示観覧料

【趣 旨】

郷土資料館では、「亙理伊達家の資料」を重点的に収集している。開館当時は、収集した資料は企画展示室に常時展示していたが、平成15年度以降は、資料の保存状態を考慮し、期間を定めて展示を行っている。30年度は、「亙理伊達家の資料」を五つのコーナーに分けて展示した。

【展示内容】

◎「戊辰戦争と亙理伊達家の北海道移住」コーナー

郷土資料館で所持している北海道移住に関する資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達邦成肖像、小野潭画「第一回移住者室蘭に上陸」ほか2点、契約会の膳ほか

◎「亙理伊達家当主と伊達政宗」コーナー

伊達政宗と亙理伊達家の関わりについて、解説と資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達政宗書状2点(成実宛、宗実宛)、伊達宗実和歌掛軸、伊達実元書状



▲小野潭画「伊達開拓歴史画」(部分)

◎「亙理伊達家の武具類―弓・鉄砲―」コーナー

亙理伊達家家臣が着用した甲冑、亙理伊達家及び家臣が所持していた刀剣、武具類を展示した。

展示資料(実物)…黒漆五枚胴具足ほか1領、武田斐子氏所有刀剣、伊達市からの寄贈刀剣、空穂、火縄銃ほか

◎「亙理伊達家の衣食住に関する資料」コーナー

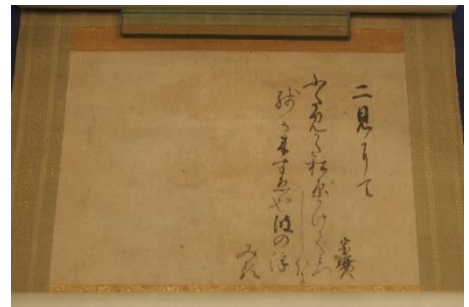
14代領主伊達邦成の義母である貞操院(仙台藩主伊達慶邦の妹)の資料と伊達市から寄贈された亙理伊達家の調度品などを展示した。

展示資料(実物)…夜着、手鏡、筥迫、食器類、道中湯沸しほか

◎「亙理伊達家当主の資料」コーナー

郷土資料館で所持している亙理伊達家当主たちの資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達宗成書状、伊達村氏和歌短冊ほか



▲伊達宗実和歌掛軸

春のテーマ展「江戸清吉コレクションの逸品」～著名人の掛軸を中心として～

期 間 平成31年2月16日(土)～3月17日(日)

開館日数 25日

会 場 企画展示室

観覧者数 522人 1日平均21人

観 覧 料 一般：100円(常設展示観覧者は無料)

高校生以下：無料

※ 障害者手帳提示者：本人と介護者1名は無料



▲震災から救われた資料

【趣 旨】

江戸清吉コレクションとは、荒浜江戸家の4代江戸清吉氏(1884-1938)が収集した明治から昭和にかけて活躍した作家、芸術家、思想家、政治家、学者など著名人たちの作品群のことで、原稿、手紙・はがき、絵画など多岐にわたる。全国的に名の知られた人物の作品が多い特徴がある。また、現在、再評価されている人物の作品もあり、貴重な資料となっている。

コレクションは、宮城県沖地震(1978年)の際に蔵から発見されて話題となり、その後、東日本大震災(2011年)で多くが被災し、文化財レスキュー活動によって救出され、郷土資料館で保管している。

郷土資料館では、コレクションの整理・修復を進める一方、研究機関等と連携して調査・研究活動を行っており、平成26年度と28年度には企画展を開催して大きな反響があった。

今回は、コレクションの中から著名人の掛軸を中心に、扁額、絵画、短冊・色紙などを展示し、併せて現在進行中の修復作業についても紹介した。

【展示内容】

◎テーマ1 ～掛軸～

コレクションには掛軸のほか、絵画、書、短冊、色紙、原稿など幅広い。中でも日本を代表する著名人の作品については、真贋の見極めのために著名人の門弟や親族に鑑定を依頼して本物であることが箱書されており、作品の価値をより一層高めているのが特徴である。

展示物…夏目漱石・森鷗外・正岡子規・坪内逍遙・尾崎紅葉・高浜虚子・名取春仙・大野麥風・小川千鶴の作品ほか

◎テーマ2 ～美術作品類～

コレクションの中には絵画を中心とした美術作品も多い。中でも竹久夢二の作品は本人とやり取りした手紙も含め、貴重な資料群となっている。ここでは、主要な作品を取り上げ、その内容について紹介した。

展示物…竹久夢二・岸田劉生・小川千甕・川端龍子・石井柏亭の作品ほか

◎テーマ3 ～短冊・色紙～

コレクションのうち短冊や色紙は、手紙やはがきと同様に幅広い分野の著名人たちの作品が残されている。被災による影響が大きく、詳細は不明となっていたが、平成23年度より実施している修復作業によって概要が分かってきた。ここでは、主要な作品を展示するとともに、修復作業を紹介して資料の保存について考えた。

展示物…夏目漱石・森鷗外・幸田露伴・尾崎紅葉・与謝野晶子・齋藤茂吉・平塚らいてふ・北原白秋の作品ほか

〔4〕 収蔵資料展示

「第21回収蔵資料展」

期 間 平成30年4月28日(土)～6月24日(日)

開館日数 49日

場 所 企画展示室

観覧者数 970人

観 覧 料 常設展示観覧料



▲小幡山神社掛図・山神御詠歌御神像掛図

【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきている。これに伴い、亘理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示スペースの制限上、公開される機会のない資料が増加したため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開することとした。

【展示内容】

平成27年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は138点。

項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	4	競技・娯楽・遊戯	3
生産・生業	3	人の一生	5
交通・運輸・通信	16	亘理伊達家・家中	9
交易	22	軍事・戦争	11
社会生活	11	文書・書籍・地図	12
信仰	5	写真	27
民俗知識	10		



▲発光器とランプ

4 無料開放事業

〔1〕 「どこでもパスポート」事業

平成14年4月から開始された学校週5日制の完全実施に伴い、仙台都市圏を構成する14市町村立の社会教育施設を、仙台都市圏内の小中学生に無料開放する「どこでもパスポート」事業が始まった。当館も対象施設として、これまで町内の小中学生を対象に第2・第4土曜日に実施していた展示室の無料解放を、毎週土・日曜日、春休み・夏休み・冬休みの長期休業日期間中に変更した。平成18年度からは「どこでもパスポート」実施要綱の改正に伴い、どこでもパスポートの利用対象日を開館日の全てに変更した。

加えて、どこでもパスポート事業開始後、仙台都市圏外の地域でも同様の事業が開始され、平成15年度からは仙南地域広域圏内、16年度からは石巻広域圏内、大崎広域圏内、登米広域圏内(現登米市圏)、17年度からは気仙沼・本吉地域広域圏、18年度からは栗原市圏の小中学生に対しても同様に展示室の無料開放を開始した。同時に仙台都市圏内の小中学生も「どこでもパスポート」を提示することで、仙南地域・石巻・大崎広域圏内、登米市圏、気仙沼・本吉地域広域圏、栗原市圏の指定施設を無料で利用できるようになった。

◎仙台都市圏14市町村(仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・富谷市・亘理町・山元町・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村)

◆仙南地域広域圏9市町「A Z 9パスポート」

(白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町)

◆石巻広域圏3市町「ゆうゆうパスポート」(石巻市・東松島市・女川町)

◆大崎広域圏5市町「大崎ゆめっこパスポート」(大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町)

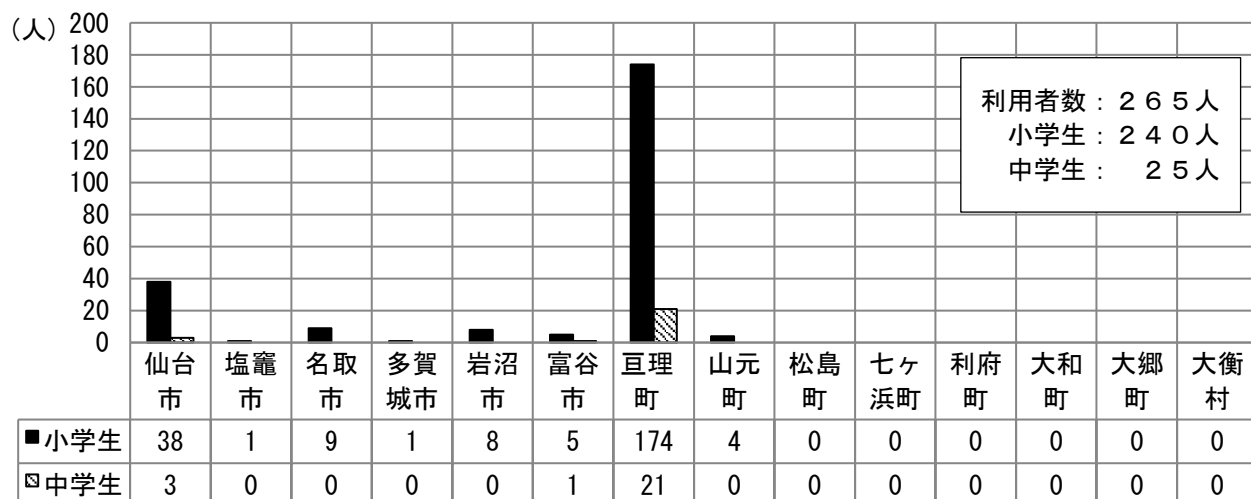
◆登米市「とめジュニアパスポート」、◆栗原市「くりはらグリーンパスポート」

◆気仙沼・本吉地域広域圏4市町「フリーパスポート」(気仙沼市・南三陸町・本吉町・唐桑町)

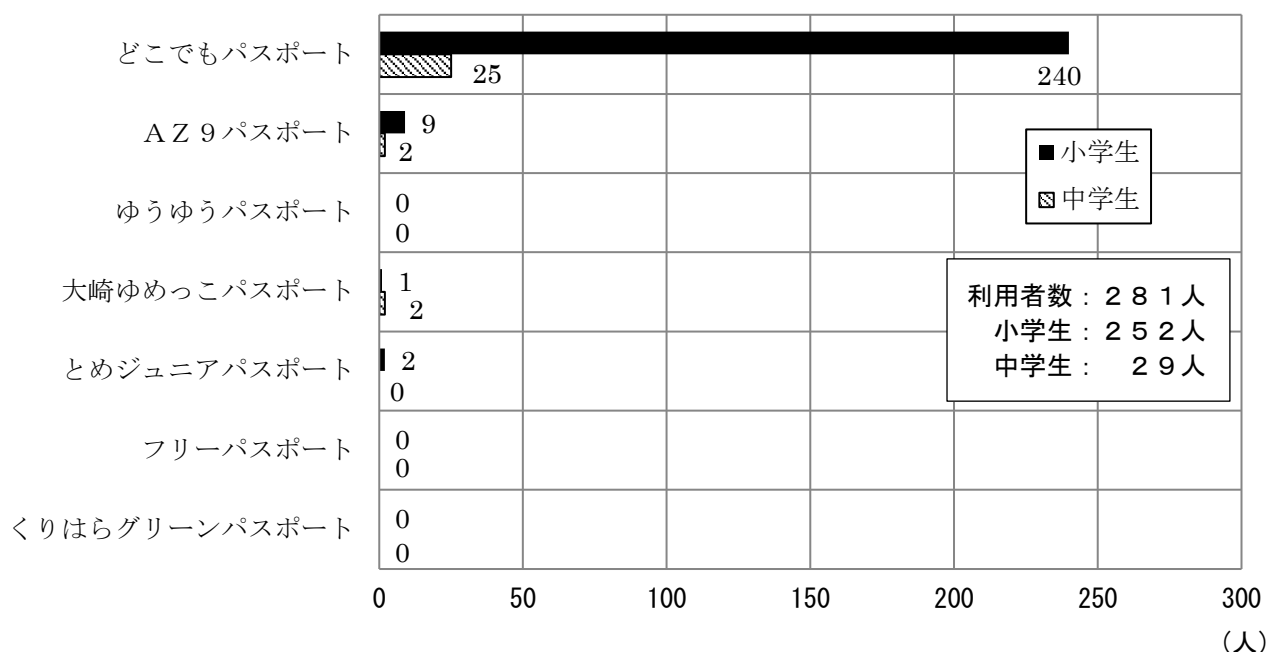
仙台都市圏等小中学生「どこでもパスポート」対象施設

市町村名	施設名	市町村名	施設名
仙台市	博物館、科学館、天文台、縄文の森広場、歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、野草園、八木山動物公園、秋保大滝植物園、仙台文学館、戦災復興記念館資料展示室、せんだい環境学習館 たまきさんサロン、水道記念館	亘理町	郷土資料館
		山元町	歴史民俗資料館
		松島町	観瀾亭松島博物館、福浦島(県立自然公園松島)
		大和町	原阿佐緒記念館、宮床宝蔵、セツ森陶芸体験館、旧宮床伊達家住宅、佐藤忠良ギャラリー
多賀城市	埋蔵文化財調査センター展示室・体験館「多賀城史遊館」	七ヶ浜町	国際村「プリマスハウス」・「ギャラリー海物語」、歴史資料館
塩竈市	タイムシップ塩竈、長井勝一漫画美術館	富谷市	民俗ギャラリー、文化創造の森 大黒澤苑
名取市	旧中沢家住宅	大衡村	ふるさと美術館
岩沼市	図書館ふるさと展示室	利府町	郷土資料館
白石市	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、片倉家中武家屋敷「旧小関家」	七ヶ宿町	水と歴史の館
		丸森町	蔵の郷土館 齋理屋敷
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館	登米市	教育資料館、登米懐古館、水沢県庁記念館、警察資料館、伝統芸能伝承館森舞台、不老仙館(登米市民俗資料館)、石ノ森章太郎ふるさと記念館、チャチャワールドいしこし、高倉勝子美術館「桜小路」
石巻市	石ノ森萬画館、国指定名勝「齋藤氏庭園」		
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館、ディスカバリーセンター、K I B O T C H A体験ゾーン		
大崎市	吉野作造記念館、大崎生涯学習センタープラネタリウム館、松山ふるさと歴史館、松山酒ミュージアム、旧有備館および庭園、鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)	気仙沼市	リアス・アーク美術館
		南三陸町	ひころの里
加美町	宗左近記念縄文芸術館、切込焼記念館、芹沢長介記念東北陶磁文化館	栗原市	白鳥省吾記念館、細倉マインパーク、山王考古館、一迫埋蔵文化財センター、金成歴史民俗資料館、仙台藩花山村寒湯番所跡、剣豪・千葉周作ゆかりの家狐雲屋敷(旧佐藤家住宅)
涌谷町	史料館、くがね創庫		

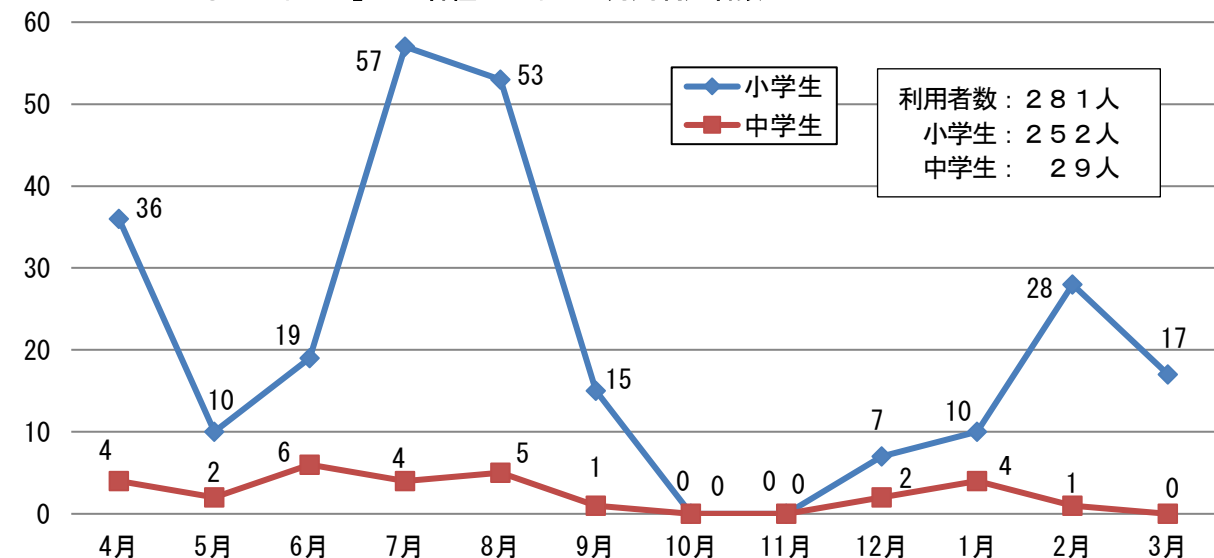
「どこでもパスポート」市町村別利用者数



パスポート別利用者数



「どこでもパスポート」ほか各種パスポート月別利用者数



〔2〕 無料開放

亙理の歴史や文化などについて広く普及を図るため、平成9年度からこどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に展示室を終日無料開放しており、加えて平成24年度からは3月3日のひなまつり、平成26年度からは伊達成実霊屋御開帳日(8月16日、1月16日)にも無料開放している。

1. こどもの日(5月5日)

大型連休期間を利用し、郷土資料館により親しんでもらうため開催した「ゴールデンウィーク特別開館」にあわせ観覧料を無料とした。

観覧者数：341人(一般325、高校生1、小中学生15)

2. 文化の日(11月3日)

亙理の歴史や文化の普及、郷土資料館の利用促進のため開催した「オープンミュージアム」にあわせ観覧料を無料とした。

観覧者数：251人(一般193、小中学生58)



▲こどもの日 手作り甲冑の試着

3. ひなまつり(3月3日)

平成14年に伊達成実公入府400年を記念して亙理伊達、仙台石川両家から寄贈された雛人形を、より多くの方々にその由来を知ってもらい、また、ひなまつりの意義の普及を図るため観覧料を無料とした。

観覧者数：80人(一般70、小中学生10)

4. 伊達成実霊屋御開帳日(8月16日・1月16日)

8月16日と1月16日の年に2回行っている、県指定文化財「伊達成実霊屋」の御開帳にあわせて、参拝者が亙理伊達家や亙理の歴史について理解を深めることができるよう、常設展示の観覧料を無料とした。

観覧者数 8月16日 211人(一般190、小中学生21)

1月16日 127人(一般127、小中学生 0)

5 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

町内小学校児童を対象に郷土資料を活用して亙理の歴史・文化を理解し、もの作りの体験をとおして先人の知恵にふれて考え、他校児童との交流による仲間作りを目的として開催した。募集は、小学校をとおしてチラシを配付した。

日 時 平成30年8月18日(土)午前10時～12時

会 場 郷土資料館 学習室

参加者 23人

材料費 200円

内 容 亙理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品についての講話後、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



▲紙やすりで勾玉を作る子どもたち

2. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるものの作りをとおして、親子・家族のふれあいの機会を増やすとともに、年中行事および地域文化への関心を高める機会として行った。

日 時 平成31年2月23日(土)
午前9時30分～12時45分
場 所 郷土資料館 学習室、常設展示室
材料費 600円
参加者 27人
内 容 ひなまつりについての講話後、綴子で雛人形を製作した。



▲完成した「おひなさま」

3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度より開始したこの事業は、毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今回は伊達成実公生誕450年記念事業として、亘理伊達家関係のテーマで2回開催し、亘理町の魅力を再発見する機会とした。

テーマ1 「伊達実元・成実父子の活躍と伊達氏の勢力拡大」

日 時 平成30年10月20日(土) 午後1時30分～3時30分
会 場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)
講 師 佐藤貴浩 氏(東京都足立区地域文化課)
聴講者 65人
内 容

亘理伊達氏の祖である実元は、「伊達」を名字とする唯一の一門として、領域支配を行い、軍事的・政治的に重要な権限を持ち、当主に対しても政治的発言力を持っていた。

また、成実は単なる猪武者ではなく、周到に調略を行う策謀家であり、文筆をたしなむ文化人であり、亘理を発展させた政治家でもあった。

そのため、伊達領国南方の軍事的に最も重要な最前線を常に任され、独自に城を攻め取るなどの活躍もみせ、戦国時代末、伊達家の南奥羽制覇に対し攻守両面で重要な役割を果たしたとまとめられた。

テーマ2 「仙台藩は賊軍に非ず～戊辰戦争の真実と亘理伊達家の人々～」

日 時 平成30年11月18日(日) 午後1時30分～3時30分
会 場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)
講 師 木村紀夫 氏(郷土史家)
聴講者 100人
内 容

伊達家は政宗以来朝廷を篤く奉じ、そして奥羽を守る自覚を強く持ってきたため仙台藩は開国後の政権構想として「朝廷主導による公武合体」を提唱してきた。

このため、戊辰戦争では薩長藩閥を除いて朝廷による真の政府をつくる理念が強くあり、奥羽越列藩同盟を結成して、不利な戦いであるにも関わらず政府軍と対決した。

これは仙台藩の終始変わらぬ考えを表した戊辰戦争の総括と言える。

亘理伊達家は仙台藩の先行きを考え、和睦の密使を政府軍本営に遣わして講話の準備を進め、藩主慶邦にこれを伝えて降伏を勧め、亘理要害で降伏式が行われた。

戦いには敗れたが、国のため、正義のために戦った列藩同盟諸藩と郷土の先人たちは、歴史に名を残している。

幾多の苦難を乗り越えてきた先人と郷土の歴史はかけがえのないものであり、未来を創造する力となる。歴史を正しく知る事によって、二度と戦争が起こらぬよう知恵も生まれてくる。

戊辰戦争150年の今こそ、郷土の正しい歴史を知って郷土への自信と誇りを取り戻し、次代の若者に伝えていく使命が私たちにはあるとまとめられた。



▲ものしり大学院 質疑応答の様子

4. 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「郷土資料館ちょこっと体験」

亘理町の歴史に関連した体験や普段は見ただけの展示品にふれることで、子どもたちに昔のくらしぶりや歴史に対する意欲・関心を向上させるとともに、「どこでもパスポート」の利用促進を目的として行った。

期 間 平成30年7月21日(土)～8月26日(日)

会 場 常設展示室

体験者 225人

◎展示室体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる
- ③切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋の切り絵に挑戦
- ④色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦
- ⑤帳場に座ってみよう：展示資料の帳場に座る
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう
：展示資料のヒトリヌリに乗る
- ⑦回してみよう
：ジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう
：指定文化財などのパズルに挑戦



▲「しげざねくん」ぬり絵に挑戦



▲「ヒトリヌリ」乗りました

5. 成実ウォーク in 亶理

郷土資料館を出発点として成実の眠る大雄寺までを要所で解説しながら歩き、町内に残る伊達成実ゆかりの史跡や町並みを訪ねて成実の足跡を振り返るとともに、亶理町の新たな魅力を再発見した。

期 日 平成30年11月23日(勤労感謝の日) 午前・午後2回

見 学 地 往路：悠里館→虚空蔵堂(赤城神社)→御免町→細小路→亶理神社→大雄寺
復路：大雄寺→八幡小路→勝光院跡→沼頭→七曲り→新町→悠里館

参 加 者 54人 参加料：300円

特別ゲスト 奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊 伊達成実、片倉重綱



▲大雄寺で記念写真



▲亶理神社



〔2〕 学社融合推進事業

この事業は平成12年度から行っており、町内小学生を対象として、総合学習や社会科の中で亶理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 出前講座「移動しりょうかん」

「昔の道具とくらし」

実 施 校：5校(9クラス)

参加人数：277人

内 容：「炭火アイロンがけ」

「天秤棒を使った桶担ぎ」

「洗濯板を使った洗濯」

「箱枕に寝てみる」

などを体験した。



▲炭火アイロンを体験する児童

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数
逢隈小学校 3年生(3クラス)	1/17(木)	9:30~12:15	家庭科室 廊下	108
吉田小学校 3年生(1クラス)	1/24(木)	9:30~11:20	体育館 MTルーム	14
長瀬小学校 3年生(1クラス)	1/30(水)	9:20~11:10	家庭科室 廊下	27
高屋小学校 3年生(1クラス)	2/1(金)	9:30~11:25	図工室	9
亘理小学校 3年生(3クラス)	2/5(金)	9:30~14:35	体育館 MTルーム	119

2. 「学芸員の派遣」

社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校：2校(6クラス)

参加人数：215人



▲もっこを体験する児童

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
逢隈小学校 4年生 (2クラス)	10/23 (火)	10:30 ~12:15	逢隈小学校 体育館	81	・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土しよい箱)、ジャバラなど用水を作ったときの道具や農作業の道具を展示した。 ・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。
亘理小学校 4年生 (4クラス)	11/21 (水)	10:00 ~12:00	亘理小学校 体育館	134	

3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室平成26年9月1日再開

〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。
5月5日には、こどもの日を記念してイベントを開催した。

日 時 平成30年4月28日(土)～5月6日(日)

内 容

◎手作り甲冑試着コーナーを設置

初代亘理領主伊達成実生誕450年を記念して手作り甲冑の試着を体験。

◎常設展示室内に体験コーナーを設置

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる
- ③色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦
- ④ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る
- ⑤回してみよう：ジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す など

◎こどもの日記念無料観覧日

こどもの日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にはオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎イリュージョンマジックショー

日 時 5月5日(土・こどもの日)

1回目 11:00～11:35

2回目 13:00～13:35

会 場 視聴覚ホール(悠里館3階)

来場者 104人

内 容 プロマジシャンSHINYA氏がイリュージョンマジックを披露した。



▲ 試着できあがり



▲ イリュージョンマジックショー

〔4〕 「オープンミュージアム」

亘理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、常設展示室と企画展示室を無料開放し、昔の道具を体験するコーナーを設けたほか、企画展示に関連した催しを行った。

日 時 平成30年11月3日(土・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、エントランスホール、学習室)

観覧者数 251人

(一般193、小中学生58)

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、亘理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亘理杵取り舞」をそれぞれの保存会が披露した。

牛袋法印神楽は全12幕のうち「獅子和舞」を、亘理杵



▲ 郷土芸能演舞会「牛袋法印神楽」

取り舞は全10番のうち1・2・3番を演じ、その後、宝銭、紅白餅まきを行った。また、同じく町指定無形民俗文化財の「亘理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。

◎文化の日記念無料観覧日

文化の日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①わたりんぬり絵をしてみよう
- ②紋切り(切り紙)をしてみよう
- ③昔のテレビゲームに挑戦しよう
- ④昔の雑誌を読んでみよう
- ⑤昔の遊びをしてみよう



▲郷土芸能演舞会「亘理桐取り舞」



▲昔のテレビゲームを体験

学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を小学6年生(11クラス289人)と教職員17人が郷土資料館職員の解説を聞きながら見学した。

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	4	141	5月29日、30日、31日、6月1日
荒浜小学校	1	15	6月8日
吉田小学校	1	13	6月13日
長瀬小学校	1	24	6月7日
逢隈小学校	3	88	5月9日、10日、11日
高屋小学校	1	8	6月6日



▲ 文化財めぐり「称名寺 シイノキ」



▲ 文化財めぐり「伊達成実 霊屋」

2. 社会見学等

遠足や教育課程に基づく学習活動の一環として、小学校児童が常設展や企画展などの見学や収蔵資料の使用体験のため来館した。

来館日	来館者	来館者数	来館目的
9. 5	亙理中学校・吉田中学校	4	職場体験学習
31. 1. 11	伊達東小・亙理小学校	17	亙理小学校との交流事業参加
1. 17	吉田中学校	4	職場体験学習
1. 18	名取市立館腰小学校	53	2年生の校外学習
2. 26	亙理小学校	125	3年生の社会見学

3. その他

来館日	来館者	来館者数	来館目的
6. 14	尚絅学院大学	41	博物館見学実習
7. 7	尚絅学院大学	11	博物館見学実習

〔5〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第140号～第145号

広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を偶数月に発行。

〔6〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月14日(火)～8月19日(日)の6日間

実習生 東北学院大学文学部歴史学科3年生1人
宮城学院女子大学生生活科3年生1人

実習内容 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学、
庶務管理及び運営について(講話)、
文化財について(講話・史跡めぐり)
2日目：資料の取扱いについて(講話・作業)
3日目：カウンター業務、文化財の保護と活用の実際(講話・作業)、教育普及活動について
4日目：埋蔵文化財について(講話・作業)
5日目：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営補助など)
6日目：資料の保管について(講話・作業)、実習のまとめ



▲実習生によるカウンター業務体験

〔7〕 その他

1. 講師派遣

- ◎亶理郷土史研究会地区懇談会
5月23日(水) 亶理町中央公民館 視聴覚室
講師：班長 菅野達雄 「明治時代における亶理から北海道への移住について」の講話
- ◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」
10月12日(金)
講師：班長 菅野達雄 「亶理町の歴史概説」
- ◎仙台市博物館友の会研修
10月31日(水)
講師：班長 菅野達雄 「大雄寺・郷土資料館」の現地説明
- ◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」
11月16日(金)
講師：班長 菅野達雄 「伊達成実」
- ◎株近畿日本ツーリスト
12月 9日(日)
講師：班長 菅野達雄 「亶理神社・大雄寺」の現地説明
- ◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」
12月14日(金)
講師：班長 菅野達雄 「戊辰戦争と北海道移住」
- ◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」
平成31年 1月11日(金)
講師：班長 菅野達雄 「亶理町の過去の災害」
- ◎北海道伊達市立東小学校と亶理小との交流事業
平成31年 1月11日(金)
講師：班長 菅野達雄
- ◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」
平成31年 2月 8日(金)
講師：班長 菅野達雄 「町内文化財めぐり」

※ ほかに文化財見学案内多数

2. 視察研修等の受入れ

◎平成30年度新規採用職員施設見学	7月 5日(木)	19人
◎山形大学視察研修	8月10日(金)	13人
◎千葉県上総市行政視察	10月19日(水)	5人
◎大分県日出町議会復興状況視察	11月15日(木)	11人

6 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は平成30年度新規収蔵資料

- (1) 考古資料：116点
- 常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,759(36)品目 13,242(70)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料 : 1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～30年度)の収蔵資料 : 3,729品目 11,460点

《平成6～30年度収蔵資料分類内訳》

分類項目	点 数	分類項目	点 数	分類項目	点 数
1 衣・食・住	1,586	7 民俗知識	1,732	12 亘理伊達家・家中	138
2 生産・生業	824	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	377
3 交通・運輸・通信	344	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,538	14 文書・書籍・地図	999
4 交易	1,984	9 人の一生	154	15 美術	737
5 社会生活	718	10 年中行事	155	16 その他	60
6 信仰	103	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 547(1)品目 1,142(1)点

写真 : 493品目831点 映像・音声 : 15品目269点(1) 絵・図 : 39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

2. 寄贈資料

15人 37品目 71点

No.	寄贈者名	地 区	主 な 資 料 名	品 目	点 数
1	山形 正志	亘理町(五日町)	錠付き箱・矢立	2	2
2	佐藤 美英子	亘理町(下茨田北)	日章旗・記念杯	2	8
3	菅野 三郎	亘理町(北城東)	外套(太平洋戦争時陸軍から貸与)	1	1
4	鈴木 光範	亘理町(柴町)	道具入・警世の碑文落成記念品	2	2
5	平間 孝一	亘理町(南長瀬)	馬頭観世音御札ほか	3	3
6	石森 和子	亘理町(吉田浜西)	計量器	1	1
7	庄司 俊一	亘理町(田沢)	田沢村検地帳	1	9
8	齋 清文	亘理町(早川)	明治27年亘理、岩沼の地図(複写)	1	2
9	横山 恵美子	亘理町(早川)	留袖・帯・櫛・簪・簪・裁縫雛型	6	7
10	菊地 義昭	亘理町(森房)	記念盃	1	4
11	加藤 栄智	亘理町(牛袋)	正月飾り(きりこ)	1	3
12	渋谷 政子	仙台市	雛人形	1	1
13	菅野 達雄	利府町	ファミコンほか	13	26
14	荻田 耕造	岩手県奥州市	亘理御備立	1	1
15	中澤 稔	亘理町(中町北)	イグネ写真	1	1

〔2〕 寄託資料

亘理忠義記(亘理町指定文化財)

船鑑札・漁業鑑札

伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点

額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点

脇差1点・刀1点

刀2点

上町 菊地家 所蔵

荒浜 島田家 所蔵

武田斐子 氏 所蔵

岡元継男 氏 所蔵

東條勝雄 氏 所蔵

武者 司 氏 所蔵

幣帛覚帳3点・取子人名記1点

陰山俊明 氏 所蔵

享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点

山形正志 氏 所蔵

武者家勤功書上(亶理町指定文化財)ほか 327点

武者宗悦 氏 所蔵

近世年代早見記(清野日記)

清野武司 氏 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資 料 名	所有者名	数 量	借用期間	借 用 理 由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亶理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

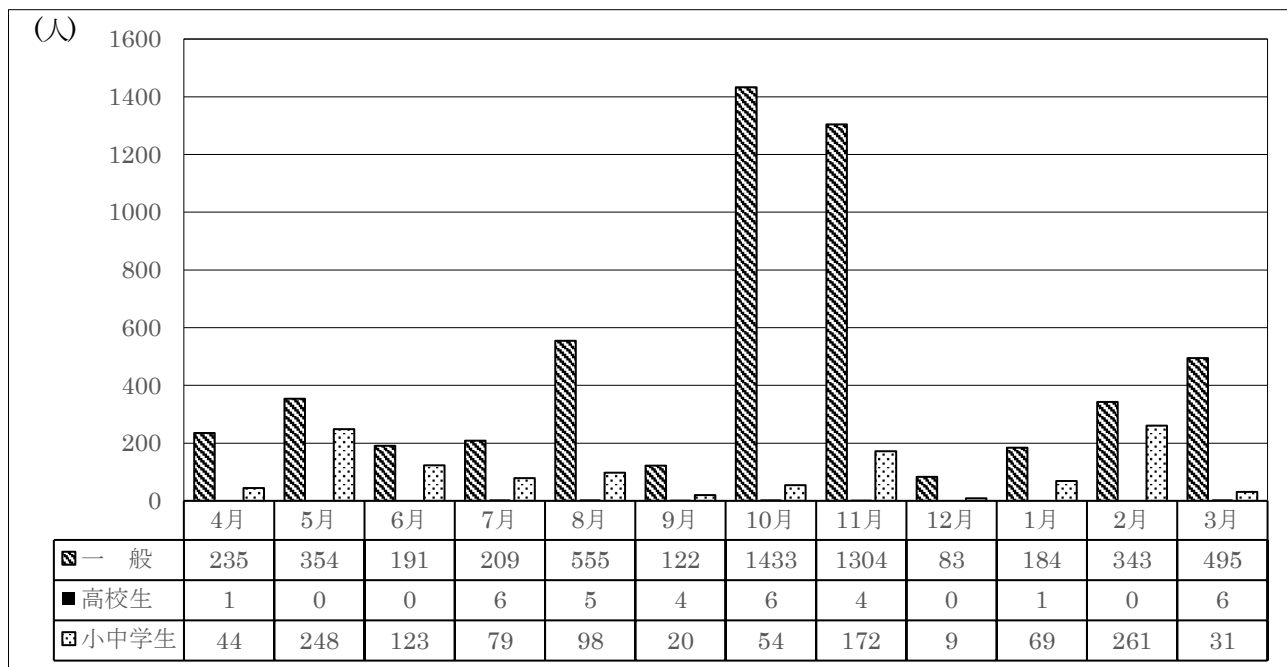
12件 195点

No.	貸 出 先	目 的	資 料 名	貸出日・期間
1	南相馬市博物館	特別展で使用	伊達成実木像写真ほか 4点	4.14～8.19
2	しばたの郷土館	企画展で使用	「小野清吉覚書」の写真 1点	7.21～10.21
3	多賀城市埋蔵文化財 調査センター	資料展で使用	伊達支族伝引証記1～6	8.2～15
4	一般社団法人 スタンドアップ亶理	荒浜ロック2018 会場で展示	亶理町の写真パネル 113点	8.3～9.3
5	伝統文化保存道岳館	御霊屋御開帳奉納演劇	獅子頭 3点	8.8～16
6	いわき市考古資料館	特別展で使用	三十三間堂官衙遺跡写真・図版データ 4点	9.19～1.10
7	亶理保育所	稲の脱穀で使用	足踏み脱穀機 1点	10.12～16
8	亶理郷土史研究会	文化祭で展示	亶理町の出来事ほか写真パネル 58点	11.2～4
9	鹿児島大学	貴重書公開展で使用	「江戸清吉コレクション」手紙・はがき 寺田宛書簡	11.7～12.5
10	NHKてれまさむね	津波の被害を受けている 様子	荒浜地区の被害の様子写真 3点	12.4
11	フジテレビ「おふく ろ、もう一杯」	「はらこめし」を紹介	伊達成実木像写真ほか 2点	12.4
12	漱石山房記念館	特別展で展示	夏目漱石直筆原稿「文鳥」写真 4点	H31.2.19～3.6

7 観覧者数の推移

〔1〕 平成30年度月別観覧者数

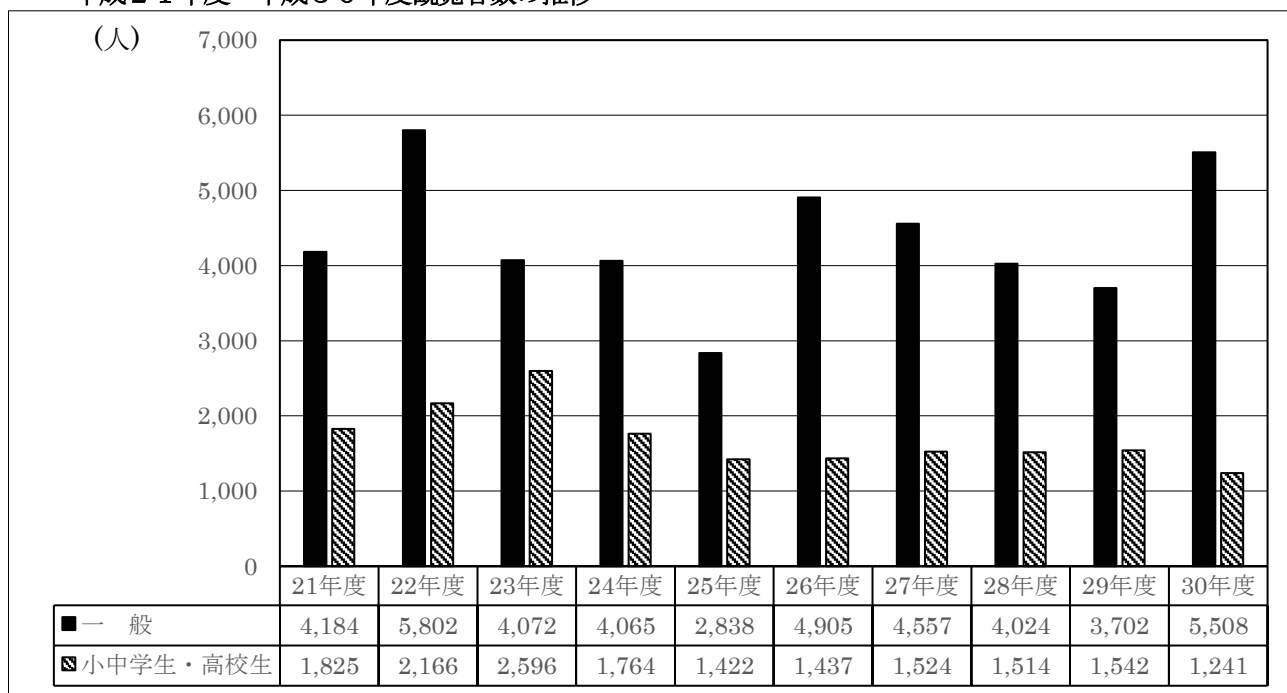
総観覧者数：6,749人（一般：5,508人 高校生：33人 小中学生：1,208人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：191,480人（一般：140,769人 小中学生・高校生：50,711人）

平成21年度～平成30年度観覧者数の推移



8 予算

郷土資料館費

予算額 9,597,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

9 職員名簿

【平成30年4月1日～平成31年3月31日】

職 名	氏 名	就 任 期 間	備 考
館 長	渡 辺 壮 一	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	
文化財班長	菅 野 達 雄	H 6. 4. 1 ～ H31. 3. 31	学芸員
主 幹	鈴 木 朋 子	H18. 4. 1 ～ H31. 3. 31	学芸員
主 幹	武 田 恵 美	H24. 4. 1 ～ H31. 3. 31	学芸員

10 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日(一部特別開館日を除く)
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

〔3〕 観覧料

- ・常設展示 一般200円(150円)／高校生100円(70円)／小中学生50円(30円)
※()内は団体20人以上の場合
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 無料開放日

- ・5月5日(こどもの日)
- ・8月16日、1月16日(伊達成実霊屋御開帳記念)
- ・11月3日(文化の日)
- ・3月3日(ひなまつり・休館日の場合は前日)
- ・仙台都市圏内の小中学生は通年無料
- ・仙南地域・石巻・大崎・気仙沼本吉地域広域圏内の小中学生は、毎週土曜日・日曜日・春休み・夏休み・冬休みの期間中無料

〔5〕 位置図



巨理町立郷土資料館年報 第21号

平成30年度

令和元年12月発行

編集・発行 巨理町立郷土資料館

〒989-2351 宮城県巨理郡巨理町字西郷140番地

TEL (0223) 34-8701

FAX (0223) 34-8709

E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

